

『Mind Charging』

第 142 回 発行：入試広報室 発行日：令和 2 年 10 月 31 日

瀬戸内寂聴の名言



人とつきあうのに秘訣があるとすれば、それはまずこちらが
相手を好きになってしまうことではないでしょうか。

まさに『悟りを開いた人』の言葉だと感じました。日々を過ごしていく中で様々な問題に直面し、悩んで相談をした時に『それができれば苦労しないよ・・・』というアドバイスをされた経験はありませんか？私は過去にそのような感情を抱くアドバイスをされたことがあります。そして、やはりそのアドバイスを即実行することはできませんでしたが時間が経ってから実行し、成功しました。

悩みの解消に成功し、安心した直後、『あの時なぜ即実行できなかったんだ・・・』と後悔しました。もちろん、時間が経って心も落ち着いたからこそ実行に移すことができたのだという思いもありますが、すぐに行動に移せなかった理由はたった一つ、『勇気』が出なかっただけでした。自分のプライドや実行に移した時の周りの印象をネガティブに想像してプレッシャーに感じたりと、結局は動き出せない理由の全てが自分の中にしかないことに気づきました。

この言葉にあるように、私たち人間の一番デリケートな悩みはやはり“人間関係”でしょう。悩みを抱えている問題に正面から向き合うことは非常に勇気が必要なことであり、できることなら避けて通りたいものです。しかし、そのように動けない状況の時にも自分の中には『この時間が無駄になる』ということは当然理解できているのですが、その時に、先に述べた『それができれば苦労しないよ・・・』という感情が自分の中に生まれてしまいます。本当は『理由をつけて止まっている暇があるならすぐにでも動き出すべきだ！』と感じているはずですが。

瀬戸内寂聴さんが伝えたいことは、『思ったことを行動に移すのは案外簡単なことですよ』ということのような気がしています。より良いコミュニケーションを取るための第一歩は勇気です！勇気を出して正智深谷で素敵な仲間をどんどん増やして人生の宝物にしてほしいと思います。（編集委員：入試広報室 鈴木）

学歴は徳島県立高等女学校（現：徳島県立城東高等学校）、東京女子大学国語専攻部卒業。学位は文学士（東京女子大学）。元天台寺住職、現名誉住職。比叡山延暦寺禅光坊住職。元敦賀短期大学学長。徳島市名誉市民。京都市名誉市民。代表作には『夏の終り』や『花に問え』『場所』など多数。1988年以降には『源氏物語』に関連する著作が多い。これまで新潮同人雑誌賞を皮切りに、女流文学賞、谷崎潤一郎賞、野間文芸賞などを受賞している。（Wikipedia 参照）